



〈雑録〉世界經濟上ニ於ケル門戸開放地域〔2〕

阿部，秀助

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 4(4):546-553

(Issue Date)

1908-04

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051251>



世界經濟上ニ於ケル 門戶開放地域(其二)

文學士 阿部 秀助

所謂列強侵略以前ニ於ケル是等ノ門戶開放地域ハ世界交通上、一見有利ナル地位ニアリシガ如シト雖、埃及ニテハ千九百三十年迄、甕疊ニテハ不定時期迄共ニ關稅ハ舊時ノ低率ヲ以テシ

「ザンジバル」ハ千八百九十二年ヨリ千八百九十九年迄自由港ノ制ヲ設ケ爾後ハ價格ノ百分ノ五ニ相當スル關稅ヲ課ス、然カモ是等ノ政治的變化ハ曩キニ吾人ノ舉ゲタルガ如キ腐敗、無能ノ行政組織ヲ有スル半開化國ノ繼續ヨリモ世界經濟上或ハ國際交通上益スル處遙カニ多シ、即チ「アルヂリア」及「チュニス」ノ佛蘭西ニ於ケル、「トランスカウカシア」ノ露西亞ニ於ケル「ボスニア」ノ澳太利、匈牙利ニ於ケルガ如キ極端ナル保護政策ヲ奉ズル國家ノ治下ニアル是等ノ地方ヲ觀察スル時ハ以テ其然ル所以ヲ解スルヲ得可シ殊ニ顯著ナル意義ヲ有スルヲ最行ノ例證トナス即チ今日吾人ガ「マケドニア」及「アルメニア」ニ於テ屢々遭遇スルガ如キ殺戮、放火、一揆等ノ慘劇ト、腐敗セル官吏ニヨリテ一般人民ノ財産ヲ掠奪セラル、ト毫モ公衆ノ生命財産ヲ保證スルモノナキト、是等内部ノ騷擾ノ爲メニ屢々損害ヲ被ムル商業トハ總テ千八百七十五年ニ至ル

迄即チ「ボスニア」及「ヘルチエゴウイナ」ガ未ダ澳太利及匈牙利ニヨリテ占有セラレザリシ以前ニ於ケル是等ノ地方ノ特徵ナリキ、現今ニテハ是等占領區域（面積五萬平方料、人口一百八十八萬）ノ輸入額ハ九千萬「クローネン」（千九百三年ヨリ千九百五年ニ至ル平均輸入年額九千八百八十八萬「クローネン」輸出年額九千八百八十萬「クローネン」ニシテ之レヲ今ヲ去ル約四十年前ノ同國ノ二千萬「クローネン」及比較的人口緻密ナル「セルビア」（面積四萬八千三百平方料、人口二百七十萬）ノ六千二百萬「クローネン」ニ比スル時ハ遙カニ多額ニ達セリ、而シテ「ボスニア」ハ其輸入額ノ大部分ヲ澳太利、匈牙利ニ仰グハ勿論ナルモ亦タ其以外ノ諸國ニ求ムルモノ甚ダ多シ（千九百五年珈琲、茶、果實、蔬菜等ノ輸入セラレシモノ六百三十一萬「クローネン」）殊ニ製造品ノ原料（棉花、麻類、護謨、金屬）ニ於テ然リトナス、斯クノ如ク「ボスニア」ニ於ケル輸入額ノ非

常ナル發達ハ占領地域ノ生産力或ハ輸出力ノ増加、又ハ秩序平和ノ存スルナクシテ或ハ物質上思想上諸種ノ文明的要素ノ擴布セラル、コトナクシテ之レヲ考フルコトハ不可能ニ屬ス、

茲ニ吾人ニ向テ興味アル例證ハ「ボスニア」ガ其需要額ノ大部分ヲ奧太利及匈牙利ノ關稅區域内ニ仰グト共ニ又タ珈琲(千九百年ニハ五百六十七萬「クローネン」ノ如キ國內ニテ消費セラルルモノアルハ明カニ一般國民經濟ノ發達改善ヲ意味スルモノナリトス、其他直接間接殖民地ノ產物、織物業及金物ノ原料品ニ關シ之レニ類似セルモノアリ、

又タ「ボスニア」ト同一狀態ニ存スルヲ佛蘭西ニ征服セラレシ「アルヂリア」トナス、其當時ノ輸入額ハ僅カニ二百萬「フランク」ニ過ギザリシガ既ニ千八百四十九年ニハ六千五百二十萬「フランク」トナリ千八百五十五年ニハ一億五千萬「フランク」千八百六十年頃ニハ一億六千萬乃

至一億七千萬「フランク」トナリ、現今ニテハ三億七千萬乃至三億八千萬「フランク」ノ多キニ達セリ、而シテ以上ノ輸入額中ニハ直接或ハ間接ニ佛蘭西以外ノ諸國ニ仰グモノ亦タ多シ、此ノ如キハ實ニ佛蘭西ガ「アルヂリア」ヲ征服セシニヨリテ世界經濟上ニ與ヘタル影響トナス、其他之レト相似タルヲ「チュニス」其輸入額ハ千八百八十一年佛蘭西ニヨリテ占領セラレシ當時ハ二千五百萬乃至二千九百萬「フランク」ナリシガ其後二十五年ヲ經過シテ今ヤ八千四百萬「フランク」以上ニ達セリ)及「マダガスカル」(千八百九十五年佛蘭西ニヨリテ占領セラレシ以前ニ於テハ四百萬乃至五百萬「フランク」ナリシガ其後十年ヲ經過シテ千九百五年ニハ三千百二十萬「フランク」トナレリ)トナス、殊ニ非常ナル發達ヲナセシハ英ノ保護國タル埃及ニシテ其輸入額ハ千八百八十年頃ニアリテハ僅カニ二億八百萬「フランク」ナリシガ千九百六年ニハ六億二千二

百萬「フランク」ノ多額ニ達セリ、

勿論大國ノ經營スル門戶開放地域ノ意義ヲ評價スルニ只ダ是等ノ地域ニ於ケル輸入額ノ増加ヲ以テ萬事ヲ律スルハ元ヨリ偏見タルヲ免レズ然カモ此地方ニ於ケル非常ナル消費力ノ發達ト母國ノ地位ニアル文明國ノ工業ニ向テ供給セラハ、原料品或ハ生産物ノ増加トハ必ズシモ其ノ然ラザルヲ知ルヲ得可シ、即チ歐洲諸國、日本、合衆國ノ鞏固ナル施政ニヨリテ平和、秩序、經濟的膨脹ノ下ニ發達シツ、アル世界經濟上最モ重要ナル輸出生産物ノ例トシテ茲ニ舉グルヲ得ルハ舊時波斯ノ治下ニテ經營セラレシ「トランスカウカシア」ノ油田、露領中央亞細亞ノ棉花「アルヂリア」及露領中央亞細亞ニ於ケル毛皮獸及屠肉獸、過去二十五年間ニ於ケル埃及產棉花ノ巨大ナル増加、及佛領後印度ニ於ケル米作ノ發達、其他臺灣ニ於ケル樟腦製造業ノ最モ價值アル改善ニアリ、

尙ホ此種ノ門戶開放地域ニシテ最モ注意ヲ拂フニ足ルハ千八百八十五年正月國際的條約ニヨリテ成立セシ「コンゴ」自由國ニシテ此國ハ近時全ク白耳義ノ殖民地ト化シ「ブルウセル」ニ於ケル中央行政ハ「コンゴ」國ニ供給スルモノニヨリテ白耳義工業ノ基礎ヲ安全ナラシメントセリ、然レドモ此場合ニ於テハ「コンゴ」國王從來ノ批政ニ代ユルニ直接白耳義領タルニヨリテ世界經濟上一般ニ益スル所アルハ明ナリトス、

二、

吾人ハ以上第一種ノ門戶開放地域ニ就キテ述ベシヲ以テ、茲ニハ第二種ノモノヲ解說セント欲ス、而シテ之レガ例證トシテ甚ダ重要視スベク又タ殆ンド世界只一ノ觀アルハ土耳其帝國ニシテ、即チ多年ニ亘リテ門戶開放地域タリシ其屬州ガ分離シテ以テ政治上、經濟上即チ關稅政策上全ク一主權國ト化セシニアリ、想フニ土耳其帝國ガ十九世紀ノ初期ニ至ル迄包有セシ領土

ハ其後相次ギテ獨立シ、然ラズンハ僅カニ土耳其中央政府ニ向テ名義上臣下ノ禮ヲ拂フノミ、而シテ總テ是等ノ獨立國ハ皆ナ歐洲工業國ニ對シテ等シク鋒ヲ向クルニ至リシコトハ土耳其國內ニ於ケル法律上安全ナル低率關稅區域ノ損失トシテ恐レラル、處トナス、即チ是等獨立國ノ政府ハ商業又タハ關稅政策上充分ナル主權ヲ獲得スルト共ニ併セテ舊時ノ關稅的羈絆ヲ脫センガ爲メ列強ニ向テ自己ノ外交的手腕ヲ振フニ至レリ、而シテ之レガ關係上最モ注意ヲ值スルハ「アンドレシー」伯ガ千八百七十五年奧太利、匈牙利及「ルーマニア」間ニ締結セシ通商條約及現奧太利、匈牙利外務大臣「エーレンタール」男ノ千九百六年十一月ニ於ケル宣言トナス、

實ニ「バルカン」ノ諸州ハ多少保護政策ヲ遂行センガ爲メ（殊ニ希臘ノ如キハ最モ極端ナル保護政策ヲ實行セリ）何レモ關稅政策上ノ獨立ヲ要求セリ、斯クノ如ク彼等ハ關稅政策上獨立ヲ

計ルモ然カモ其行政タル之レヲ土耳其帝國ニ比スルトキハ頗ル健全ニシテ又タ世界經濟上及世界交通上ノ關係ニ就キテモ更ニ後者ニ比シテ大ナル發達ヲ意味セリ、殊ニ之レガ關係上最モ興味アルヲ近時「ルーマニア」ノ發達トナス、即チ同國ガ國際上舊時ノ關稅狀態ニアリシ千八百六十六年ニ於ケル輸入額ハ七千五百五十萬「フランク」ナルニ、千九百五年ニハ三億三千七百五十萬ノ巨額ニ達シ、輸出額モ亦タ之レト同時ニ増加シテ一億千六百五十萬「フランク」ヨリ四億四千七百萬「フランク」トナリ、其中穀物輸出ハ僅カニ五百四十八萬ヨリ二千六百四十七萬「フランク」ニ増加セシニ過ギザルノミ、土耳其帝國ノ輸入額ハ近時公ニセラレシ政府ノ報告ニヨレバ千八百九十九年ヨリ千九百一年ニ至ル迄平均五億六千萬、其輸出額ハ僅カニ三億五千萬「フランク」ニ過ギズ、今マ兩國ノ輸入額ヲ比較スルニニ對スル一、七ナリトス、而シテ兩國人口

ノ割合ハ一ニ對スル三、七ナリ、斯クノ如キ結果ヲ生ズルニ至リシハ主トシテ「ルーマニア」ガ世界交通上有望ナル經濟的設備即チ鐵道ノ布設、及「コンスタンツア」及「ドナウ」ノ築港等ヲ營ミシニヨルモノトス、尙ホ希臘ノ輸入額ハ千八百六十五年ニハ六千七百萬「フランク」ナリシガ千八百七十五年ニハ一億「フランク」トナリ、千九百〇一年ヨリ千九百五年ニ至ル間ハ平均年額一億四千萬「フランク」トナレリ、而シテ以上ノ増額ハ「コリント」ノ恐慌、國家ノ破産、千八百九十七年ニ於ケル土耳其共ニ對スル敗亡、國際的財政監督ノ設定、「クレテ」事件ノ結果人心恟々タリシコト、過激ナル保護政策ノ實行等政治上及經濟上ノ災難アラザリセハ更ニ數倍ノ多キニ達セシヤ明カナリ、其ノ他數字上略ボ相同ジキヲ「ブルガリア」「セルビア」及「モンテネグロ」トナス、

其外埃及ノ場合ニ見ルガ如ク門戶開放地域ヨ

リ分離セル一部分ガ更ニ或強國ニヨリテ占領セラル、際ハ世界交通上及世界的商業上寧ロ祝スベシトナス、之レヲ要スルニ「バルカン」諸國ニシテ土耳其帝國ノ羈絆ヲ脱セザル限リハ自國ノ輸出額ヲシテ發達セシムルコト能ザル可シ、而シテ此ノ如キ關係ハ吾人ヲシテ「ルーマニア」ノ石油、穀物、木材、「ブルガリア」ノ穀物、鶏卵、毛皮、果實「セルビア」ノ穀物及李果、希臘ノ礦物等ヲ回想セシム又タ、「バルカン」諸國ニ於ケル保護政策ガ歐洲諸國ノ製造品タル糖菓、靴類硝子、樂器、紙類等ノ輸入ヲ多少制限スルコトアルモ、然カモ之レニ代ユルニ農工業ニ使用スル機械類又タ希臘ニテハ多ク船舶ノ需要アルニ於テオヤ、

三、

何等外邦侵略者ノ力ヲ借ラズシテ門戶開放地域ニ於ケル政治狀態ガ革新セラレ、其文明亦タ發達シ、加フルニ軍備ノ充實ヲ來タスガ如キハ

此地域ニアリテ最モ稀有ナル例證ニ屬ス、蓋、行政機關ノ不備ナルト文明ノ發達セザル結果ハ世界經濟ノ局面ニ於テ此地域ハ大概只ダ二個ノ發展ニ適スルニ至ル、即チ歐洲文明ヲ有スル大、中國(中國ハ「コンゴ」ト白耳義トノ關係ニ於ケルガ如シ)ノ占領スル處トナルカ、或ハ「バルカン」諸國ニ見ルガ如ク其一部ノ自主獨立ニアリ、然カモ十年前ニ於テ粗野ナル半開化國タリシ日本ハ前二者ト異ナリテ其文明ト威力トニ於テ自主的發展ヲ試ミ世界ノ政治上及經濟上ニ著シキ影響ヲ與フルノ光榮ナル例證ヲ刻スルニ至レリ、斯クノ如ク日本ガ文明ノ事業其他軍備、行政ニ於テ非常ナル進步發達ト共ニ、此國ヲシテ門戶開放地域ヨリ解放セシムルニ至リシ前提ハ實ニ其輸出額ト共ニ輸入額ノ著シキ増加ニアリ千八百六十二年ニ於ケル此國ノ輸入額ハ千五百四十萬「フランク」輸出額ハ三千七百八十萬「フランク」、千八百七十四年ニテハ輸入額ハ既ニ一

億七千萬、輸出ハ一億九千一百萬「フランク」ナリ、然カモ同年ノ輸出入額ヲ以テ千九百三年ヨリ千九百六年ニ至ル最近ノモノニ比スル時ハ其増加ハ實ニ甚シク、千九百六年ニ於テ輸入十億九千九百萬、輸出十一億千二百萬ノ多額ニ達セリ、

蓋シ日露戰爭ニ於ケル日本人ノ偉大ナル成功ハ深ク世界ノ人心(殊ニ亞細亞及亞弗利加諸國ノ人民)ヲ覺醒セリ、清國ノ如キ舊時ノ勢力範圍的政策ヲ以テ甘んぜズ、政治上及經濟上ニ於テ發達セル國家ヲ構成セントセリ、既ニ今日ニ於テ軍事、行政、教育上幾多改革ノ結果ハ非常ニ歐米及日本製ノ工業品ニ對スル購買力ヲ増スニ至レリ、

又タ日露戰爭及露西亞ニ於ケル内亂ノ回教國ニ與ヘタル影響ハ殊ニ歐洲人ニトリテ興味アリ彼ノ波斯ノ如キハ又タ世界ノ腐敗セル國ニアラズ、此國ニハ幾多ノ改革家現ハレ且ツ清國ニ見

ルガ如キ活潑ナル國民的自覺心ノ存在セルヲ認
ムルニ足ル、即チ此國ニ於テハ「ポオトマス」條
約締結後未ダ一箇年ヲ經過セザルニ憲法制定セ
ラレ、又タ同國ニ關スル英露ノ協約ハ此國分割
ノ前驅ナリト信ゼラレ、爲メニ國會ノ拒否スル
處トナレリ、其他埃及ニアリテモ半バ宗教上ヨ
リ、半バ國民的自覺心ヨリ英ノ政治ヲ悅バザル
風アリ、斯クノ如クシテ偉大ナル文明ト威力ト
ニ自主的發展ヲ試ムルハ獨リ日本ニ限ラレズ、
而シテ此目的ニ向テ勇進セシ日本ハ全人類社會
ニ於ケル驚愕ノ對象トナレリ、

吾人ハ結論トシテ以上述ベシ處ヲ綜合シテ考
フルニ、世界的市場ノ狹少ト及ビ海外ニ販路ヲ
求ムルノ困難ナル所以ヲ唱說シツ、アル商業政
策ノ理論家ト、之レガ影響ヲ被ムレル實際家ト
ノ議論ノ根子トナレルモノハ、實ニ世界ニ於ケ
ル門戸開放地域ノ縮少ニアリ、然カモ此議論ハ
世界經濟ノ現狀ヲ深く考察スルニ於テ其當ヲ得

ザルコト吾人ノ既ニ述ベタルガ如シ、又タ門戸
開放地域ノ維持ガ世界經濟上各國均等ノ利益ヲ
與フルヨリ重要ナリト考察スル政治家及外交家
ノ主張ノ正鵠ヲ得ザルコトモ自カラ認識スルヲ
得可シ、吾人ハ寧ロ事實ノ證明スル處ニヨリ
テ門戸開放地域ハ出來得ル丈短時期間ニ止ムル
方、世界經濟ノ發達ニ好都合ナリトノ史的法則
ヲ主張スルモノナリ、彼ノ文化退廢シ加フルニ
弊政交々行ハル、憫ム可キ門戸開放地域ハ其國
土ノ生産力（輸出力）ト民ノ購買力（輸入）トシテ
遙カニ大國ノ殖民地ニ及バザルニ至ラシムルモ
ノナリトス。（完結）